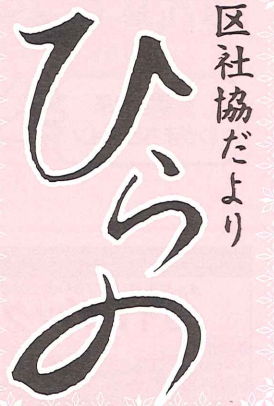


がんばっています！ネットワーク委員会・推進員 ～地域の見守り・発見・予防に役割発揮～



社会福祉法人 大阪市平野区社会福祉協議会
〒547-0043 大阪市平野区平野東2丁目1番30号
平野区在宅サービスセンター
(にこにこセンター)
☎ 06-6795-2525
FAX 06-6795-2929
http://hirano.kusyakyou.or.jp/

だれかのために、できること。
ただ今、ニュージーランド地震
救援金を受け付けております。
[受付口座] (郵便振替口座)
口座名義:日本赤十字社
口座番号:00110-2-5606
通信欄:「ニュージーランド地震」
と明記ください。
※郵便局窓口での取扱いは、
振替手数料免除。
※受領証希望の方は、通信欄に
「受領証希望」と明記ください。
[募集期間] 平成23年3月31日まで
国際活動、災害救護活動、医療事業、看護師
養成、血液事業、救急法・家庭看護法等の講習、
赤十字奉仕団、青少年赤十字、社会福祉事業
日本赤十字社大阪府支部平野地区

昨年問題となりました、百歳以上高齢者の行方不明や孤独死、高齢者・児童虐待の増加、十三年連続三万人以上の自殺者などが明らかに、「無縁社会」と言われ、コミュニティ崩壊の現状が連日報道されました。

あなたはどうお感じになっていますか。この問題は、決して他人事ではありません。これまでにもこうした問題の解決に住民の立場で一つ一つ取り組み、成果を残してきたのが、ネットワーク委員会や社会福祉協議会です。ネットワーク委員会には、相談員であるネットワーク推進員やふれあい員と呼ばれる見守り訪問活動を中心に活動するボランティアがいます。住民間の助け合い・信頼関係を土台に、「誰もが住みよいまちづくり」をめざして、「見守り・発見・予防」を合言葉に、活動者はいきいきとその役割を發揮しています。

自宅で倒れている方を発見し活動の成果

取り組みの一つである「高齢者食事サービス(会食会)」を連絡なく欠席されたので、推進員が様子を伺いに訪問すると、自宅内で倒れて動けなくなっているのを発見できたこともあり

また、地域包括支援センターからの相談で、部

保健・医療・福祉ネットワークの推進員の活動

- 福祉に関する身近な相談窓口
- 専門機関への連絡調整(パイプ役)
- 地域の福祉課題の把握
- 広報活動
- 声かけ・見守り訪問活動など
- 地域で助け合い活動の推進
→小学校区ごとに1人、区内に22人



保健・医療・福祉ネットワークの推進員の活動

- 各地区的事情によりますが、
- 老人憩の家などに事務所
- 月曜日～金曜日
- 午前10時～午後4時まで活動
- 同じ地域に住む住民の立場で活動



地区ネットワークの委員会の活動

- 概ね小学校区ごとに組織化
- 多くの地域で、連合振興町会・社会福祉協議会と一体となって、
- 「見守り」「発見」「予防」を合言葉に、それぞれの地域の特性に合わせて、
- 各地域が工夫しながら活動しています。

中の方も気軽にいろいろなお話をしてくださるようになります。そこから、ちよつとした悩みを聞いたり、普段と違う変化に気づきます。虐待など問題が深刻化する前に発見したり、消費者被害などの予防につながっています。また、地域包括支援センターなどの専門機関へ「つなぐ」こともしています。

ネットワーク委員会・推進員の活動

ネットワーク委員会は、日々の地域にお住まいの方が積極的に社会参加できるように地域ぐるみの取り組みを行うとともに、住民のニーズの発見や相談支援、関係機関への連絡調整、地域での支え合いについての検討などを行っています。活動者は活動を通じて、やりがい・生きがいを感じ「老い」や「障がい」などについての理解も深めています。各地域の取り組みなどについては、「小地域福祉活動の手引き」でご紹介しています。区社協で配付していますので活用ください。

新聞報道がなされました。大阪市健康福祉局によると、一部事実とは異なる点が存在するとのことで、このたび大阪市の見解をお伝えします。関係者の皆様には、ご心配とご迷惑をおかけしています。

推進員の活動経費

ネットワーク推進員に対して支払われている活動経費(月額上限十万円)は、大阪府が「大阪府地域福祉活動推進事業補助金要綱」に基づいてネットワーク委員会へ交付している補助金の中から推進員に対して推進員業務の委託料として支出しているものです。日中(おおむね十時～十六時)推進員活動に専従することが求められ、その時間帯の活動を拘束することになるため、対価として一定の報酬が必要であると判断し、推進員の設置経費を設けました。金額についても上記補助要綱に明確に定められたもので、大阪市として予算計上し、地域からの精算報告提出も義務付け、適正な支出を行っています。また、推進員は、大阪市の非常勤嘱託職員ではないため、条例の制定は必要ないと考えています。ですから「ヤミ報酬」に該当するとは考えていません。

◇平成23年度 財団法人 中央競馬馬主社会福祉財団助成金の申請受付のお知らせ

大阪府共同募金会では、3月15日～4月20日に社団法人京都馬主協会を経由して行う標記財団の助成金に係る申請受付を行います。
・助成対象:保育所を除く民間社会福祉施設整備費
(ただし、一定条件が必要ですので、詳しくは大阪府共同募金会ホームページをご覧ください。)

◇大阪府共同募金配分申請受付のお知らせ

大阪府共同募金会では、5月2日～20日までの期間に標記配分金の申請を受付けます。詳細につきましては、4月に掲載する大阪府共同募金会ホームページをご覧ください。

※大阪府共同募金会ホームページ: <http://www.akaihane-osaka.or.jp>
赤い羽根おおさか
※お問い合わせ:大阪府共同募金会事務局まで TEL06-6762-8717
FAX06-6762-8718

ご寄付

ありがとうございます。

平成二十二年八月から平成二十三年一月までの間に、次の方々より、平野区社協善意銀行への預託をいただきました。
匿名(三件)
《物品預託》
(株)小林新聞舗(車内)
全田昇、(株)小林新聞舗、平野区小売市場連合会、平野区商店会連盟、区社協イベント出店売上金、

皆様の気持ちに感謝いたしますとともに、区内の福祉充実のために有効に活用させていただきます。
《善意銀行への預託は、(株)小林新聞舗(車内)に活用させていただきます。(順不同、敬称略)》
※善意銀行への預託は、税法上(所得税・市民税)の寄付金控除の対象になりません。

◆善意銀行への預託◆
《金銭預託》
橋口頼道、渡邊美穂子、角原勝子、藤本貢、

みんなで作ろうわたしたちのまち

～町中にハートステッカー

の花を咲かせよう～事業

平野区未来
わがまちビジョン

和っしょい!
ひらの

平野区地域福祉
アクションプラン



事業説明・・・
和っしょい!ひらの、ハートステッカー事業の説明を掲載しています

コミュニケーション
ハンドブック・・・
公共交通機関、公共施設、商業施設などの建築物、公園や駐車場などで利用者の困難さを理解し、状況に応じて、適切な対応をするためのポイントを記載した参考書

コミュニケーションボード・・・
コミュニケーションに何らかの支援を必要とする方などと、周囲の人たちの間をつなぐ話し言葉にかわるものひとつです

和っしょい!ひらのでは、平成二十一年度より子育てのネットワークづくりプロジェクトの発案で、「ひとがあたたまるまちづくり」～町中にハートステッカーの花を咲かせよう事業に取り組んでいます。

この事業は、自閉症や発達障がいなど外見からはわかりにくい障がいについて学び、知らないことから生じる差別や偏見をなくすとともに、コミュニケーションに何らかの支援を必要とする方への具体的な対応を身につけてもらいます。

平成二十三年二月二十四日に開催された学習会には、商店街の関係者や平野区内の郵便局から二十五人の参加がありました。平野宮町商店会の南

会長は「商店会の皆さんに、事業の目的を知ってもらい、お客さんに安心して利用してもらえるよう、まずは自分がよく理解しなければ」と積極的に参加いただきました。

また、大阪平野本町郵便局長には平野区発の本事業に関心をもって、区内の郵便局にお声かけいただき「郵便局もできる範囲で、安心して暮らせる地域づくりに貢献できれば」と就業後にもかかわらず、二十局の局長・社員の皆さんに参加いただきました。

学習会ではまず、和っしょい!ひらのやハートステッカー事業について説明します。その後、ビデオやガイドブックを通じて、障がいに対する理解や支援の方法について

学びます。

参加者は、ガイドブックにある、基本の対応や構造化の支援、コミュニケーションボードを利用した視覚化の支援について、障がいのある方にかかわらず、子どもや高齢者、外国人など幅広い範囲で活用が可能と理解いただけただけの様子でした。

本事業では、参加者に、ハートステッカーや缶バッジを配布し、掲示してもらっています。

今年度は、他にも東住吉高校、瓜破小学校、子育てフェスタや平野区子育て応援講座の「町じゅう構造化計画」のイベントで、また平野区役所全職員を対象に学習会を開催しています。

学校はもろんスーパーやコンビニ、金融機関など平野区内のさまざまなところにハートステッカーの輪を広げていきたくて活動しています。

ぜひ地域や職場の研修会などで学習会をご活用



講師の弦川さん、山田さん

区内4カ所目の地域共生サロンが開設 喜連西地区共生サロン

平野区では区民学習会（平野の取り組みと富山型サービスから地域共生ケアのこころ学ぶ）での考えを活かし「子どもから高齢者まで障がいの有無にかかわらず、誰もが集いふれあえるサロン」の開設を進めています。現在、平野南地区、加美南部地区、にこにこセンターの3ヶ所で実施されています。

このたび、区内4カ所目の地域共生サロンが、喜連西地区で開設されます。

平成23年3月23日（水）午前10時30分から喜連西老人憩いの家（喜連西3-3-6）で開催を予定しています。小さな子どもさんやその親、高齢者の方などがいっしょに話をしたり、遊んだり、絵本の読み聞かせなど多世代が交流できるサロンです。子どもが楽しめる遊具も用意しています。

ください。
問い合わせ
平野区社会福祉協議会
地域活動担当
電話 六七九五-二五二五
平野区保健福祉センター
保健福祉担当
電話 四三〇二-九九四一

認知症サポーター養成講座

「認知症サポーター」とは、認知症の方や家族を支援する応援者です。

キャラバンメイトが開催する「認知症サポーター養成講座」を受講されると「認知症サポーター」になることができます。

区社会福祉協議会では、ネットワーク委員・ふれあい員・ボランティア、児童・生徒・PTA、店舗・金融機関・企業などを対象に10名以上からお申込いただけます。

講座の内容は、ビデオ学習やキャラバンメイトによる認知症の説明、認知症の方への関わり方や本人や介護される方々の気持ちについてなど、クイズも交えながら理解を深めてもらっています。

講座を受講された方には認知症サポーターの証として、オレンジリングをお渡ししています。



最近の開催状況

平成23年2月12日（土）
（和っしょい!ひらの 団塊・シニア世代のボランティアグループ）
にこにこ会 参加者21名

2月17日（木） 平野区老人福祉センター 参加者27名

2月22日（火） システムケアつつみ 参加者14名

問い合わせ・申込先はこちら
平野区社会福祉協議会 地域生活支援ワーカー
平野区平野東2-1-30 電話：6795-2727
FAX：6795-1660

平野区社協の賛助会員を募集しています

平野区社会福祉協議会では、誰もがこの平野区で安心して暮らせるよう、さまざまな事業に取り組んでいます。これらの事業は各種補助金や共同募金配分金、善意銀行への預託（寄付金）や賛助会費などにより成り立っています。

みなさまから寄せられた会費は、平野区の地域活動やボランティア活動などの支援をはじめ、区社協の活動に有効に活用させていただきますのでご協力よろしくお願いします。

年会費	
個人会員	1口 1,000円
法人・団体会員	1口 10,000円
※ただし、口数に制限はありません。	

お問合わせは
社会福祉法人
大阪市平野区社会福祉協議会
☎6795-2525

★すでに賛助会員としてご協力いただいている皆様には、直接、会費納入のご依頼を送付させていただきます。

ボランティアビューローだより

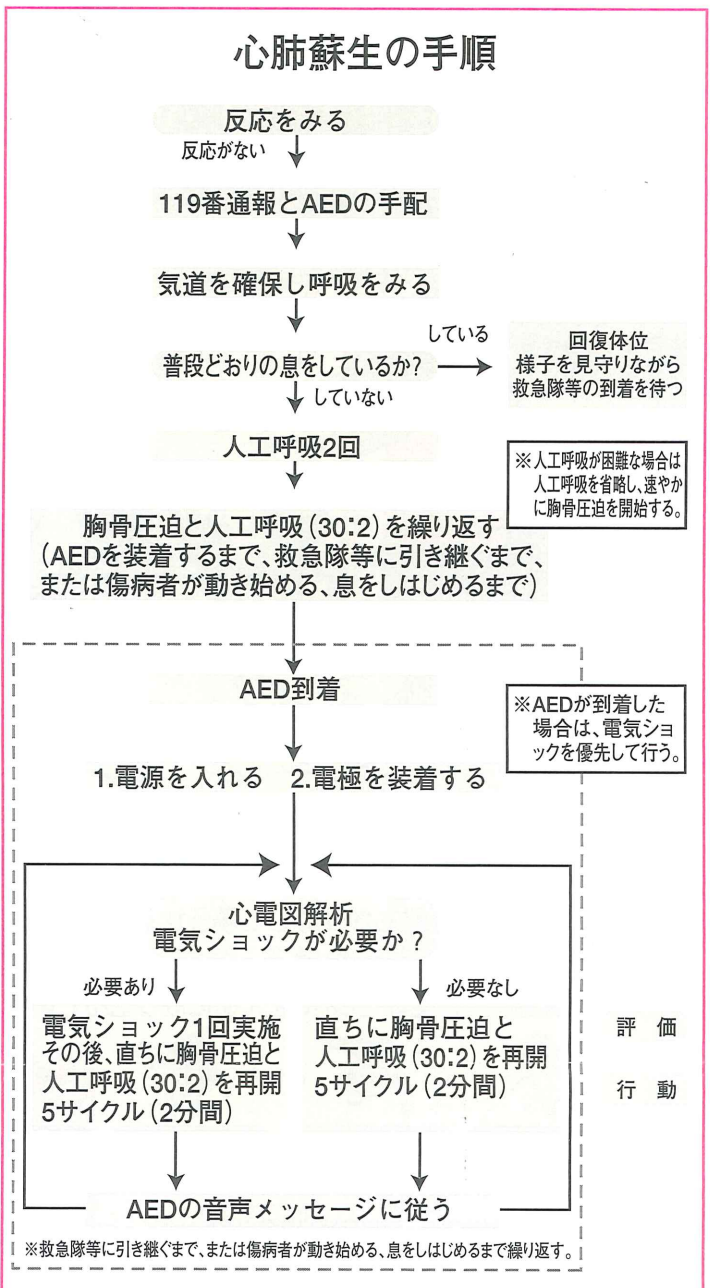
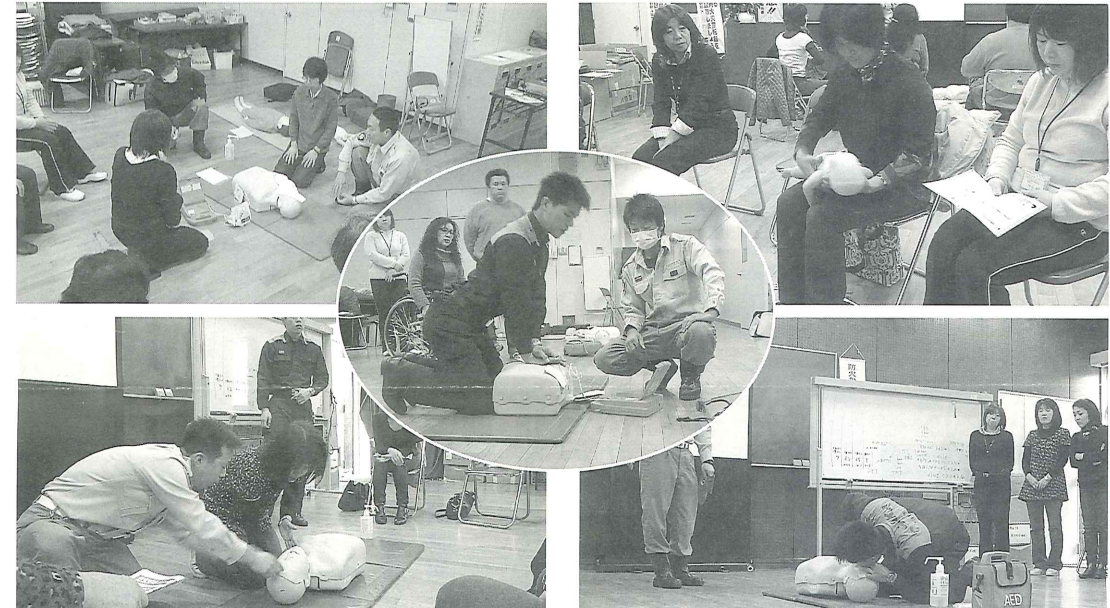
平野区平野東2-1-30
「にこにこセンター内」
☎6795-2200

普通救命講習（心肺蘇生・AEDの講習）

「心肺蘇生の大切さを実感」 一歩踏み出す勇気を持ちましょう。

先日、下図の日程のとおり、平野区保健福祉センター子育て支援室、平野子育て支援センター、喜連子育て支援センター、平野区社会福祉協議会が共催で、子育て支援者スキルアップ講座を開催し、地域の子育てサロンや登録ボランティアグループなど、すでに子育て支援活動をされている方が多く参加されました。その中で最終日の「AEDの講習」は一人でも多くの方に参加してもらおうとこの回だけの参加もOK！と言うことで大勢の方の参加をいただき、開催しました。消防署職員の方からのお話によりますと、「救命救急ガイドライン二〇〇五」から「救命救急ガイドライン二〇一〇」が発表され、大きく変わったのは、

普段どおりの息をしない場合は、とにかく「胸骨圧迫」（心臓マッサージ）を早く行なうこと、もし意識があれば嫌がる抵抗を見せるので止めればよいだけのことで、体に残っている酸素を、胸骨圧迫を行なうことにより脳など必要なところに送り届けることが大切ですよと話されていました。大阪市内での救急車の到着時間は約五分と言われています。救急車が到着するまで応急手当が行われていなければ、助かる可能性のある命を救うことが出来ないとも話されました。「目の前の消えかかっている命」に対して、勇気を持って「心肺蘇生」を行なって、助かるはずの命を助けるために「あなたの力」が必要です。



子育て支援者スキルアップ講座 開催しました！！

日時	内容	講師
1 11/2 (金) 10~11:30	子どもの育ちとともに	特別支援教育士 今木 智子氏
2 12/17 (金) 10~11:30	身近なものを使って こんなおもちゃができるよ!	指導者(保育士) 内田 しげり氏 竹中 真弓氏
3 2/25 (金) 10~12:30	普通救命講習 AEDの講習	平野消防署

このような講座を開催し、区内の子育て力が高まり、活動がより一層活発になるように今後も関係機関と連携を取り、推進していきたいと考えています。

ボランティア この人

平野区ボランティアビューローには現在三八のボランティアグループと個人で二六五人の方が登録し、さまざまなボランティア活動に取り組んでいます。

そのなかから、今回は橋口頼道さんを紹介しましょう。

橋口さんは平成十二年から登録ボランティアとして、子育て支援や車いすを利用していらっしゃる方の送迎また障がい者施設の畑の世話などほぼ毎日活動されています。区社協だよりを毎号読んでいた



橋口さんは、ボランティアを実践するとともに、平成十三年六月から善意銀行への寄付を(千円〜二千円)毎月、続けておられます。本人は照れ隠しで「(趣味のグラウンドゴルフで)ホールインワ

ンをした記念に」と区社協に来られます。

平成二十三年一月二十日に、善意銀行規程により、区社協から感謝状が贈呈されました。

「自分が無理なくできる範囲で、世のため、他人のために役に立てれば、それが喜び」と今日もほがらかに黙々と活動されています。

ボランティアをすることで、ボランティア同士や支援を必要とする人との新たな出会いも生まれます。平野区ボランティアビューローには橋口さんのように、さりげなく活動される、すてきなボランティアさんがたくさんおられます。

平野区ボランティアビューローでは、常時ボランティアを募集しています。

自分のできる“ちょっとしたこと”をお探しの方、ボランティア活動に興味のある方は、ボランティアビューローまでお気軽に連絡をください!!!

「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」をめざして

平野区地域包括支援センターだより

高齢者・家族・地域の暮らしの相談窓口

平野区包括支援センターでは、今年度大阪市から委託を受けて「認知症高齢者支援ネットワーク事業」を実施することになり、関係機関が情報を共有し、協議する場として、るんるんネット（平野区認知症高齢者支援ネットワーク連絡会）を設置しました。平野区地域支援調整チーム実務者会議（高齢者部会）と連携し、一体となって取り組みを進めています。概ね月一回連絡会議を行い、一月五日（土）にはコミュニティプラザ平野（平野区民センター）で「認知症を知ろう」講演とシンポジウムを開催しました。



寸劇のフィナーレ

オープニングでは参加者が認知症について具体的にイメージできるようなるんるんネットのメン

バーによる寸劇を行いました。参加者の方に認知症について、身近に感じてもらえた様子でした。

第一部は講師に大阪市立大学大学院医学研究学術科 神経精神医学の橋本博史氏を迎え、「認知症の周辺症状とその対応について」基調講演をいただきました。

第二部は平野区医師会理事であるるんるんネット委員長の入谷純光氏をコーディネーターに、シンポジストとして加美地域包括支援センター主任介護支援専門員の山本孝美氏、クサベ在宅サービス介護支援専門員の北村克典氏、

イミングについて、初期の兆候が見られたら、早く受診して診断を受けることが、その後本人や家族の負担軽減や前向きに向かい合えるかにつながるポイントであるということでした。



約460名の方の参加で大盛況でした

喜連東地区ネットワーク推進員の髙橋節子氏によりシンポジウムを行いました。

それぞれのシンポジストが、関係機関や専門職、地域と連携し、本人や家族を支える実践について報告し、参加者の方に支援者の役割や現状について理解を深めてもらうことができました。

最後はるんるんネット入谷委員長が「かかりつけ医との連携は重要で、遠慮せずに相談してほしい。認知症になっても安心して暮らしていける平野区をめざし、力を合わせて頑張っていきましょう」とまとめ、閉会しました。

認知症高齢者支援ネットワーク事業・家族介護支援事業

認知症支援の取り組みをはじめました!

認知症を知ろう

～わかりあおう、そして、つながりあおう～



るんるんネットのキャラクター誕生!

「誰もが安心して暮らせるまち」をめざして
みまもる・こえかける・つなげる・つたえる・ささえる
という気持ちを大切に取り組んでいきます



平野区社会福祉協議会・平野区地域包括支援センター(るんるんネット事務局) TEL.06-6795-1666

平野区認知症高齢者支援ネットワーク連絡会(るんるんネット)

平野区医師会、平野区歯科医師会、平野区薬剤師会、平野区保健福祉センター、平野区社会福祉協議会、平野区老人クラブ連合会、平野区保健・医療・福祉ネットワーク推進員連絡会、平野区居宅介護支援事業者連絡会、平野区訪問介護事業者連絡会、平野区訪問看護ステーション連絡会、平野区地域包括支援センター、長吉地域包括支援センター、加美地域包括支援センター、平野区地域支援調整チーム実務者会、高齢者部会プロジェクトチームつなげる会

平野区地域包括支援センターが4月から5ヶ所に

平成23年4月1日から平野区に、区民の皆さんのより身近な相談窓口として新たに喜連地域と瓜破地域に地域包括支援センターが設置されることになりました。喜連地域と瓜破地域にお住まいの方は、それぞれの新たな地域包括支援センターが担当機関になります。

地域包括支援センターは、高齢者のみなさまが、住みなれた地域で安心した生活が送られるように支援を行う総合機関として、市町村が設置しています。

*4月からの地域包括支援センター担当地域（平野区）

名称	設置 受託 法人	所在地	担当地域
喜連地域 包括支援センター	社会福祉法人 ユタカ福祉会	平野区喜連西 3-15-23	喜連地域
瓜破地域 包括支援センター	社会福祉法人 永寿福祉会	平野区瓜破 2-1-65 ビア平野階	瓜破地域
加美地域 包括支援センター	社会福祉法人 和悦会	平野区加美北 7-1-2	加美地域
長吉地域 包括支援センター	社会福祉法人 永寿福祉会	平野区长吉出戸 6-8-21	長吉地域
平野区地域 包括支援センター	社会福祉法人 大阪市平野区社会福祉協議会	平野区平野東 2-1-30	平野地域